

中2英語 助動詞⑥ まちがい探し : be を足す・be を落とす

なまえ _____

中2/助動詞と be の まちがいを 見つける

ひづけ _____

きまり 助動詞と be の まちがい探し

どんな とき	かたち	れい
助動詞・have to の 前 (am・is・are を 置かない)	must	He must study. かれは 勉強しなければ ならない
助動詞の あとに 形容詞・場所 (be を 入れる)	be	You must be quiet. 静かに しなければ ならない

助動詞・have to の 前に am・is・are は 置かない。あとは 動詞の もとの形。

あとに 形容詞 (quiet・careful など) や 場所が 続く ときは be を 入れる。

- ・1は、正しい ほうを ○で かこもう。
- ・2は、〔 〕 から えらんで 線の上に 書こう。
- ・3は、○か ×を かこもう。×は 意味を かえずに 正しい 文を 書こう (○は 書かない)。

1 be の 使い方を えらぶ (○で かこむ)

ヒント きまり表の どの 行?

- (1) He finish the work.
- (2) You must careful on the road.
- (3) My sister wash the dishes.
- (4) Ken kind to his friends.

2 〔 〕 から えらんで 書く

ヒント 〔 〕 の 中に 答えが ある

- (1) Students must _____ kind to new students. (be/are)
- (2) She has to _____ at school by eight. (be/is)
- (3) My father _____ leave home early. (must/is must)
- (4) They _____ clean the beach. (should/are should)

3 ○か ×か。×は 正しい 文を 書く

ヒント まちがいは 1つの かたまり

- (1) Aya is should wait for us. ☐ ☐ ×
→ _____
- (2) You should careful here. ☐ ☐ ×
→ _____
- (3) Tom must carry the box. ☐ ☐ ×
→ _____

見直し ☐ 助動詞の 前と あとを 見た ☐ 3の ×は 文ぜんぶを 書いた まちがい () 問



きまり 助動詞と be の まちがい探し

どんな とき	かたち	れい
助動詞・have to の 前 (am・is・are を 置かない)	must	He must study. かれは 勉強しなければ ならない
助動詞の あとに 形容詞・場所 (be を 入れる)	be	You must be quiet. 静かに しなければ ならない

助動詞・have to の 前に am・is・are は 置かない。あとは 動詞の もとの形。

あとに 形容詞 (quiet・careful など) や 場所が 続く ときは be を 入れる。

1 be の 使い方を えらぶ (○で かこむ)

- (1) He finish the work.
- (2) You must careful on the road.
- (3) My sister wash the dishes.
- (4) Ken kind to his friends.

2 [] から えらんで 書く

- (1) Students must be kind to new students. [be/are]
- (2) She has to be at school by eight. [be/is]
- (3) My father must leave home early. [must/is must]
- (4) They should clean the beach. [should/are should]

3 ○か ×か。×は 正しい 文を 書く

- (1) Aya is should wait for us. ☐ ☒ ×
→ Aya should wait for us.
- (2) You should careful here. ☐ ☒ ×
→ You should be careful here.
- (3) Tom must carry the box. ☒ ☐ ×
→ _____

丸つけのめやす/つまずきやすいところ

1 は 助動詞・have to の 前に am・is・are は 置かない (He is must ~ は ×)。あとに 形容詞が 続く ときは be。

2 は (1)(2) は be を 書く。(3)(4) は [] の 正しい ほうを 書く。

3 は ×を 直す。(1) は is を 消す。(2) は be を 入れる。(3) は 正しい 文なので ○。